

地域主権＝国全体のしくみの大改革



「自治労集會」では、徳永委員長あいさつの後、逢坂誠二内閣総理大臣補佐官(左写真)が、「地域主権改革の今後」と題し講演を行った。地域主権改革を考えると、国家全体のしくみを考えるという非常に大きな改革である。随時、そのことを頭においていただいて、その最前線にいたるのが自治労の仲間のみならずということである。みなさんの声が地域主権改革関連三法案の早期成立につながる。大きな声援をよろしくお願ひしたい」と述べた。

公共サービスの再構築・労働基本権の確立



2500人が参加した9・8中央集會＝9月8日、日比谷公会堂

この集會には、全国から6500人が参加し、逢坂補佐官の講演後、全労協の迫会長が連携強化にむけてあいさつした。本部提起として岡本書記長が、「消防職員の団結権のあり方に関する検討会の開催状況」と今後の取り

18時30分から開かれた中央集會は台風の影響で当初予定していた日比谷野外大音楽堂から日比谷公会堂に変更になりデモ

まずは国民の信頼回復

行進は中止となった。中村議長の主催者あいさつの後、来賓として河野連合副会長、民主党・細野豪志幹事長代理があ

公務労協

社会的責任と役割果たす

9月8日、東京・日比谷公会堂で「地域主権と労働基本権の確立を求める自治労集會」と、公務労協「国民の安心と安全を確保するための公共サービスの再構築と公務員の労働基本権の確立を求める9・8中央集會」が開かれ、全国から2,500人、北海道本部から18人が参加した。

組み、荒金総合組織局長が、「消防職員の組織化の取り組みと労働者の人権である労働基本権の獲得をめざして」についてそれぞれ提起した。

「自治労集會」と同時進行で、公務労協として約230人が公共サービス再構築や労働基本権確立を求める議員要請行動を行った。

いさつに駆けつけた。細野幹事長代理は、公務員の労働基本権については、公務労協の考え方をしっかりと受け止め来年の通常国会で法律制定を行う姿勢にある。人件費2割削減については地域主権改革や「新しい公共」の創造といった全体の枠組みの中で、公務労協の理解を得ながら進めていくことを明言した。

その後、吉澤事務局長が「公務公共サービスに従事する労働組合としての社会的責任と役割を果たし、公務員・公共サービスに対する国民の信頼回復をはかることを基本に、当面する諸課題に1

めざせ「公共サービス基本条例」

2009年5月「公共サービス基本法」が成立し、7月1日から法律が施行した。この法律は、「理念法」の範囲に属しているため具体的施策を打ち出すまでになっていない。法律の基本理念を公共サービス

の担い手である地方自治体(公共民間を含む)などが共有化し、自治体の「条例」で明確にする必要がある。今後、「公共サービス基本法」条例制定にむけて労組の立場で、署名行動の取り組みを12月末まで展開する。

展望ないから たたかわない?

公共サービス民間協總會・学習会

9月11日、自治労会館で公共サービス民間労働組合協議会第16回定期総会を開き、18単組30人が参加した。中村博行議長(亀田清掃労組)は、「たかいたの意思統一の場にしてほしい」とあいさつした。総会では上川地本公共民間労組連絡協議会の結成が報告された。また、「自治体の契約の有りようを変えるのは単組の要

求書だけではできない。実態に合った公契約のあり方やシステムの確立について中央へ意見反映しよう。公共サービス基本法の理念を生かす取り組みが必要」などの意見が出された。

は、自治労公共民間労働者や、自治体労働者の現状について触れ「展望がないからたたかわない?」何もしないで展望はない。展望がないと楽しくない。これと考えて運動をしていけば良いし、困ったらまわりに相談をする。それによって「つながり」ができる『往復運動』が大切だと話した。

中前茂之連合後援会事務所開き

中前さんを働く者の代表に

支援会事務所



枝野民主党幹事長も応援に駆けつけた＝9月6日、新札幌アークシティホテル

9月6日、新札幌アークシティホテルで、10月24日の衆議院北海道5区選挙区補欠選挙に立候補を予定している「中前茂之連合後援会事務所開き」が行われ、関係者や支援者が駆けつけた。

来賓の、高柳連合北海道会長は、「この選挙は重要なたたかい。北海道で働く人の4割が非正規職員だ。中前さんを働く者の代表とするために、絶対勝つ選挙にしなければならぬ」と強調した。中前さんは、「5区候補者としてとても重責。次の世代の将来を考え、責任ある世代として、5区から変えていきたい。皆さまの力で、前へ押し出していただきたい。しっかりと頑張ります」と力強く決意を述べた。

JICHIRO スケジュール

2010年10月

- 5日(火) 道本部第2回執行委員会 (札幌市)
- 6日(水) 2011年度道本部賃金担当者会議(札幌市)
- 12日(火) 衆議院北海道第5区補欠選挙告示日
- 19日(火) 道本部第3回執行委員会 (札幌市)
- 21日(木) 自治体退職者会道本部第27回定期総会(札幌市)
- 24日(日) 衆議院北海道第5区補欠選挙投票日
- 27日(水) 10都市単組・7市労連会議 (札幌市)
- 28日(木) 連合北海道第23回年次大会 (札幌市)

道本部ホームページ

自治労北海道 検索

組合員専用ページは ユーザー名:hokkaido
パスワード:jichi2009

署名取り組みます!!

『公共サービス基本条例 制定を求める要請書』

★2種類(あて先)の署名を取り組みます。

①北海道知事あて ②札幌市長あて

目標筆数：1人5名

期間：9月下旬～12月末まで

全道自治研

仕事のやりがい

住民の幸せに

道本部は9月10日～11日、檜山郡厚沢部町で、第33回自治研全道集集を開き、全道から151人(一般住民3人、43単組・総支部)が参加した。主催者あいさつで、杉谷副委員長は「3年前に自治労に加盟した『厚沢部町職員組合』を内外に広くアピールするため、厚沢部町での開催となった。自治研活動の推進は、仕事のやりがいにつながる。それが住民の幸せにつながる。集集で議論し、運動の糧にしてほしい」と話した。

基調講演は、「地域主権について」と題し、内閣総理大臣補佐官の逢坂衆議院議員が講演した。講演では、「住民に身近な行政は、自治体が主体的かつ総合的に、広く担うようにするとともに、地域住民が、自らの判断と責任において、地域の諸課題に取り組みることができるようになるための改革であり、活気に満ちた地域社会をめざしている。今後、行政のあり方が地域住民とともに、大きく変わっていくこととなる」と話した。基調講演後、コーディネーターに佐藤克廣北海道学園大学教授をむかえ、「地域主権」と北海道の自治についてパネルディスカッションが行われた。

2日目は、第1分科会「北海道の食と農、そして環境を考える・地域住民とともに歩むまちづくり」。第2分科会は、「子育てから介護まで、安心のまちづくり・自治体改革運動と財政」の2つに分かれ議論した。厚沢部町職(開催地単組)書記長 中里弘弘さん



書記長 中里弘弘さん

結成時の思い 再確認

をつくりたいという思いからでした。たゞ重なる人員削減で、疲弊していく職員たちの意見を、理事者に伝えようという目的や自己研鑽、職員としての意識の向上を掲げました。組合に対する周囲の無理解からくる意見や、交渉の難しさなどを悩むにつけ、役員である私たちが、本来の目的を忘れがちになっていたように思います。その意味で、全道の仲間レポート発表や議論を目の当たりに

あいくみの国会だより



できたことは、結成当初の思いを再認識させてくれた自治研集集になりました。

さて、今回の「たより」では、先待して政権交代を果たされたのかで民主党代表選挙に触れないわけにはいきませんね。同じ党内から選出された小泉政権が地方を切り捨て、社会保障を崩壊させ、格差社会を増長させた。そのことに、「何とかしてよ!」の期待感からであったと思いたす。格差社会を解消し、子どもたちに未来を展望できる。安心の老後が待っている。そんな国民の声にこたえる新たなスタートが代表選挙であった。これから問われるのだと思いたす。未来をつくるため、ともに頑張りまわす。(9月15日東京にて)

介護よければ終わらよし

9月4日、自治労会館で、2010年度道本部介護集集と社会福祉評議会学習会を開き、24単組・総支部、61人(うち女性26人)が参加した。道本部社会福祉評議会・野村議長(札幌市職連)は、「処遇改善交付金により対象事業所の7割が改善された、または今後すると回答している。次に、言い換えれば残りの3割については、改善されていないということになる。別の調査では、賃金についての不満は50%以上という結果もある。自らが声を上げ積極的に訴えていくことが、今ほど重要になっている時はない。今集集で、活発な意見交換をお願いしたい」とあいさつした。

道書記会

書記として

「自治労運動」で何を!!

9月9日～10日、ホテルライフォート札幌で、道本部書記評議会総集集を開き、全道から56人が参加した。主催者として、伊藤議長が、「今集集に送り出してくれた単組・総支部役員に感謝。全道の書記仲間と交流し、活発な議論をしよう」とあいさつした。来賓として、石狩地方本部・佐々木委員長があいさつし、道本部・川本書記長が、「書記として常に自治労に何が起きているのか把握することが大切。それぞれの

全道自治研レポート集

道本部ホームページで見ることができます

自治労北海道 検索

メニュー「単組・組合員専用ページ」のメニュー下に下記バナーがあります。(パスワードは、1面スケジュール下)

自治研 をクリック!

第26回 野球選手権全国優勝大会 苦小牧消防協がベスト4



苦小牧消防協チーム

消防協の名全国に

9月11日～13日、香川県・高松市とさぬき市で全国野球選手権大会が行われ苦小牧市職労と苦小牧消防協が参加した。苦小牧市職労は初戦で敗退し、勝ち残った苦小牧消防協は、日立市職労と対戦、大会規程の7回7点差のリードで準決勝敗退となった。しかし、初出場でもベスト4という輝かしい成績を収め、消防協の名を広める結果となった。2チームのみなさまお疲れさまでした。



介護ベッドと車いすを使い工夫をこらした介護を学ぶ参加者

9月9日～10日、ホテルライフォート札幌で、道本部書記評議会総集集を開き、全道から56人が参加した。主催者として、伊藤議長が、「今集集に送り出してくれた単組・総支部役員に感謝。全道の書記仲間と交流し、活発な議論をしよう」とあいさつした。来賓として、石狩地方本部・佐々木委員長があいさつし、道本部・川本書記長が、「書記として常に自治労に何が起きているのか把握することが大切。それぞれの



新役員を紹介する、武藤新議長(左) = 9月10日

忙中余話

初めてこの忙中余話に登場したのは、昨年の自治研全道集集が終わったばかりの時だった。そして、また今回も厚沢部町で開催された自治研全道集集が終了した直後である。でも今回は、違った意味でも含まれている。道本部の執行委員として約2年。今回の大会で十勝に返る。だからこれが最後になる。自治研集集では、いろいろと書きたかった。自治研集集で思い出し出と学んだことは、しっかりと持って帰ろう。この間、本当にありがとうございました。(駒井 由美)